

第 24 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 18 年 2 月 20 日 (月) 13 : 30 ~ 19 : 30

場 所 尼崎市立女性・勤労婦人センター

出席者 (委員) 松本 (誠)、奥西、川谷、長峯、岡田、加藤、佐々木、田村、中川、
伊藤、岡、草薙、酒井、土谷、山仲
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(農林水産部) 高木、鶴崎 (河川整備課) 玉置
(事務局) 黒田、植田

内 容 (協議結果)

1 流域対策の検討 (基本方針レベル)

継続協議としている「流域対策施設の仕組み」(ため池、水田貯留等各対策の前提条件の整理) について、河川管理者から説明があった。これらを踏まえて協議した結果、次の事項を確認した。

ため池の治水容量確保のため、「恒久的に水位を引き下げる」、「降雨の直前に操作により水位を引き下げる」のどちらによるかは、改めて協議する。

水田については、効果の根拠を明確にするため、農地面積、ほ場整備面積、水田面積、水田面積のうちの転作面積等について整理する。上記を確認の上で、水田面積から転作面積を除いた面積において、「畦畔嵩上げは行わない」、「畦畔の高さのうち、15cm を治水対象とする (流出モデル上、15cm を Rsa で評価する)」を前提として効果量を試算する。

その他の流域対策 (防災調整池等) については、継続協議とする。

2 河川対策の検討

「本川下流区間の河道計画検討」および「本川上流区間および支川の河道計画検討」について、河川管理者から説明があり、協議した結果、次の事項を確認した。

本川上流区間については、現行の既存計画 (工事実施基本計画、全体計画) と、現在協議している基本方針等との関係を整理した上で、支川とあわせて継続協議とする。

「本川下流区間の河道計画検討」については、表現の修正等を行った上で、次回流域委員会 (2 月 23 日開催予定) に報告する。

3 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

河道計画 (河道対策)

防災調整池の数値化

ため池、水田の数値化

遊水地 (「河川施設」、「結果として湛水地域」、「公共施設・都市施設」) の可能性及び数値化

利水ダムの活用

各戸貯留等の数値化

(2)今後の日程(開催日時)

- | | | |
|------|----------|--------------------------|
| 第25回 | 2月27日(月) | 14:00~ |
| 第26回 | 3月3日(金) | 16:30~20:30(終了後、運営委員会開催) |
| 第27回 | 3月9日(木) | 13:30~ |
| 第28回 | 3月14日(火) | 13:30~ |

当日配付資料

- 資料1 流域対策施設の仕組み
- 資料2 本川下流区間の河道計画検討
- 資料3 武庫川における河道計画検討(本川上流区間と支川)
- 資料4 総合治水WTへの意見書:HWLに関する疑問(奥西委員)
- 資料5 再質問書の改訂:奥西委員からの質問に対する回答について(奥西委員)
- 資料6 利水ダムの転用(村岡委員)
- 資料7 第23回総合治水WT協議結果